

学習指導案

中央区立京橋築地小学校

内山 宝・坂田 真一

1. 教科・学年 第5学年
2. 単元名 わたしたちの生活と情報
3. 単元について

(ア) 概要

本単元は、学習指導要領第5学年の内容（3）に該当する。主な内容は、「通信などの産業が生活の向上や産業の発展に影響し、これらの産業に従事する人々の工夫や努力を見学したり資料を活用したりして調べ、具体的に考える」ことである。

児童は、毎日の暮らしの中のさまざまな情報に囲まれた生活を見直し、その上で「放送局の働き（ニュース番組づくり）」を具体的に調べ、情報産業に従事する人々の工夫や努力を理解していく。

さらに、自分に身近なテレビや新聞などの「コマーシャル」を通して情報と生活との関連を具体的につかみ、マスメディアの影響やネットワーク社会の問題点に目を向けながら、高度情報化社会での自分たちの暮らしと情報のかかわりについて具体的に捉える。そして、まとめとして、「メディアリテラシー」の重要性について理解する。

(イ) 「放送記者坂井マヤ～ストーリーをさがせ～」の本単元における活用について

児童は、現代の情報化した社会で生活するために、メディアリテラシーを向上させることが、必要不可欠であるが、メディアリテラシーを向上させるための教材としては、書いてあることを読み取り理解を深めるものが主流で、児童が主体的に活動し学ぶことができる教材が少ない。

しかし、今般、総務省がメディアリテラシーの向上と普及を目的に開発した「放送記者坂井マヤ～ストーリーをさがせ～」は、放送記者である坂井マヤの立場に身をおき、ニュースづくりを主人公と一緒に疑似体験できる教材であり、児童が主体的に活動しながらメディアリテラシーを学ぶことができる数少ない教材のうちの一つである。

児童は、疑似体験した火事についてどのようにニュースとして伝えるか、素材（火事の様子絵）を選び、その素材にレポートをつけることで、同じ素材を扱っても、素材の切り取り方や組み合わせ方でニュースの内容が異なることを学ぶことができる。また、編集例などで、より良い情報発信の具体例を見ていくことで、自然とメディアリテラシーを向上させることができると考え、今回、本単元のまとめの教材として取り入れてみることにした。

(ウ) 単元の目標

○わたしたちの身の回りには多種多様な情報の中から、必要とする価値ある情報を見つけて収集し、情報の働きや意味を考えて発信しようとする。

○我が国の情報産業について、放送局を見学したり資料を活用したりして調べ、通信などの産業に従事している人々は、生活の向上や産業の発展のために正確な情報を速く、わかりやすく伝えるための工夫や努力をしていることや、情報産業と国民生活とのかかわりについて具体的に考える。

(イ)単元の計画 (11時間)

	時	○学習のねらい ・主な活動	□指導上の留意点および工夫 ■評価の観点
導入	1	<p>ほしい情報を手に入れる</p> <p>○自分たちの回りには、さまざまな情報があることに気づき、情報の役割に目を向けることができる。</p> <p>・身の回りに溢れる情報を得るための機器や手段を話し合い、生活の中の情報の役割や生活と深く関係していることに気づかせる。</p>	<p>□具体的な例をたくさん挙げることで、児童が「情報」について具体的にイメージできるようにする。</p> <p>■自分たちのまわりにあるさまざまな情報入手する手段や中身を進んで考えようとしている。</p> <p>■情報の役割に目を向け、進んで考えようとしているか。</p>
放送局の働き	2	<p>①テレビとニュース</p> <p>○テレビのニュース番組は、どのようにしてつくられ、放送されているのか関心を持ち、調べる計画を立てることができる。</p> <p>・テレビと生活との関わりについて話し合い、テレビのニュース番組や放送局を調べる計画を立てる。</p>	<p>□放送局を調べる方法について、どのような方法があるか考えさせるようにする。</p> <p>■放送局の様子や番組づくりの過程をすすんで調べ、各種資料などから、放送局で働く人々の工夫や努力を的確に捉えている。</p>
	3	<p>②ニュースをつくる</p> <p>○わかりやすいニュースをつくるために、たくさんのスタッフが協力し、工夫や努力をしていることを調べる。</p> <p>・インターネットや教科書、資料集などで調べ、まとめる。</p>	<p>□事前に活用できるホームページや本を確認し、児童に提示する。</p> <p>■ニュース番組をつくり、時間内に放送するために、局内のさまざまな人が連携し、役割を担って仕事をしていることがわかる。</p>
	4	<p>③ニュースを放送する</p> <p>○ニュースを、正しく、速く、分かりやすく伝えるために、工夫や努力をしていることを伝える。</p> <p>・インターネットや教科書、資料集などで、ニュース番組がどのような人たちの働きで支えられているかを調べ話し合う。</p>	<p>□ニュースキャスターも含め、さまざまなスタッフの働きに着目できるようにする。</p> <p>□各局のホームページを活用し、放送局の様子を調べるようにしておく。</p> <p>■計画的に、多くの情報の中から必要なことを取り出し、調べ活動を行うことができる。</p> <p>■放送局の機能や働く人の様子、願い、各放送局間の連携など、1つ1つの事実を理解すると共に、事実相互を関連づけて理解している。</p> <p>■調べたことを自分の言葉でわかりやすくま</p>

			とめたり、自分の考えを入れて発表したりすることができる。
	5	<p>④より良いテレビ放送をめざして</p> <p>⑤まとめとふり返り</p> <p>○より良いテレビ放送を目指すため、放送局の人がさまざまな工夫や努力をしていることを調べ、放送局の働きについてまとめる。</p> <p>・番組はどのようなしくみで日本・世界各地へと送られ、結ばれているのか調べ、話し合う。</p>	<p>□民放キー局やNHKのホームページなどから、ニュースネットワークや衛星放送、デジタル放送に関して調べるようにする。</p> <p>■テレビ放送が国民生活に大きな影響を及ぼしていることや今後のテレビ放送の課題について多角的に理解することができる。</p> <p>■情報を正しく、速く、わかりやすく伝える放送局の役割を具体的に捉えると共に、世界各地とのつながりについて考え、放送による世界とのかかわりを考える。</p>
情報と社会	6	<p>①くらしの中のコマーシャル</p> <p>○私たちが生活している中で、コマーシャルなどのたくさんの情報を受け取っていることを知り、生活とどのような関係があるのか調べる。</p> <p>・身の回りのテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネットなどの情報が、自分たちの生活とどのような関係があるか調べ、話し合う。</p>	<p>□普段の生活の中で何気なく目にしているテレビや新聞などのコマーシャルに着目させ、くらしと情報のかかわりに気づかせる。</p> <p>■身の回りの情報が自分たちの生活や産業とどのように関係があるかをすすんで調べ、情報産業に携わる人々の工夫や努力について捉えることができる。</p>
	7	<p>②コマーシャルのひみつ</p> <p>○効果的な情報を伝えるために、コマーシャルは、メディアごとに映像、音声、キャッチコピーなどを駆使して作られていることを調べる。</p> <p>・テレビコマーシャルの映像や音、全体の流れを調べて、特色を見つけたり、メディアごとの特色をまとめたりする。</p>	<p>□テレビコマーシャルは、数十秒で印象深く商品を伝えるために、映像や言葉、音楽を活用していることを具体的に捉えさせる。</p> <p>■それぞれの産業で、どんな情報がどのように利用されているか、情報と産業とのかかわりがわかり、産業の特徴に応じて必要な情報を活用していることが理解できる。</p>
	8	<p>③テレビや新聞と情報</p> <p>○情報に囲まれた生活の良い点や問題点を話し合い、情報の受け手として、情報の質を見分けながら活用していくことの大切さについて考える。</p> <p>・テレビニュースの内容や新聞記事の見出しを比較して調べ、テ</p>	<p>□同じニュースや事件でも、新聞社や放送局によって異なった視点で取り上げられていることに着目させる。</p> <p>■身の回りの情報が自分たちの生活や産業とどのように関係があるかをすすんで調べ、情報産業に携わる人々の工夫や努力について捉えることができる。</p> <p>■情報を主体的に活用することによって、くら</p>

	<p>レビや新聞報道の影響力の大きさを話し合う。</p>	<p>しが豊かになることがわかると共に、誤った情報が社会や人々の生活に大きな影響を与えることがわかる。</p> <p>■わたしたちの生活や産業の中で情報が活用されていることやその重要性など、一つ一つの事実を理解すると共に、事実相互を関連づけて理解している。</p>
9	<p>④情報を生かす</p> <p>○コンビニエンスストアでは、情報をどのように活用しているかを調べる。</p> <p>・情報を効果的に活用している産業について具体的に調べ、自分たちの生活と情報のかかわりについて話し合う。</p>	<p>□身近なコンビニエンスストアを例に、多様な情報を一つに集めて分析、判断し、効果的に活用している産業の様子を具体的にとらえさせる。</p> <p>■身の回りの情報が自分たちの生活や産業とどのように関係があるかをすすんで調べ、情報産業に携わる人々の工夫や努力について捉えることができる。</p> <p>■それぞれの産業で、どんな情報がどのように利用されているか、情報と産業とのかかわりがわかり、産業の特徴に応じて必要な情報を活用していることが理解できる。</p>
10	<p>⑤コンピューターと情報社会</p> <p>○自分たちの生活がコンピューターなどを利用することで変化してきたことを知る。</p> <p>・コンピューターと通信に依存している社会の様子を調べ、自分たちの生活と情報のかかわりについて話し合う。</p>	<p>□情報社会の光の部分だけでなく、個人情報の漏洩などの影の部分についても考えさせる。</p> <p>■わたしたちの生活と情報のかかわりに関心を持ち、情報を正しく活用することの大切さがわかる。</p> <p>■情報社会における個人情報の保護にかかわる課題について自分の考えを持ち、積極的に理解することができる。</p>
11 本時①	<p>⑥情報を発信しよう</p> <p>「放送記者坂井マヤ～ストーリーをさがせ～(1)」</p> <p>○情報を正しく、速く、わかりやすく伝えるために、どんなことに注意をすればよいか考え、情報を選択する。</p> <p>・放送記者坂井マヤが直面したホテルの火災について、テレビのニュースで正しく、わかりやすく伝えられる写真について選択する。</p>	<p>□何のために、誰に、どのような情報を伝えればよいのか、また、選んだ情報が、これまでに学んだ情報モラルなどについて問題はないか考えさせるようにする。</p> <p>■テレビの視聴者は、ホテル火災についてどのような情報を知りたいか考え、伝えたい情報を、選択することができる。</p> <p>■選択した情報について、情報モラルなどの問題はないか考えることができる。</p>

	<p>1 2 本時 ②</p>	<p>⑥情報を発信しよう 「放送記者坂井マヤ～ストーリーをさがせ～(2)」</p> <p>○伝えたい情報を編集して、実際に情報を発信する。また、発信した内容について話し合うことを通して、情報が溢れる社会について、総合的に理解する。</p> <p>・選択した写真に各自でレポートを付け、グループで編集会議を開き、実際にホテル火災のニュースを発信する。また、発信した情報や編集例などから、情報を正しく発信することの大切さについて話し合う。</p>	<p>□情報の発信者として、何のために、誰に、どのような情報を伝えればよいのか考えさせるとともに、受けての立場になって、何がどのように伝わるのか、何をどう伝えるべきか、これまでの学習内容をもとに考えさせる。</p> <p>■伝えたい情報を受け手にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>■情報を正しく活用することの大切さについて話し合いを通して、メディアリテラシーを向上させることの必要性を理解することができる。</p>
--	-------------------------	---	--

4. 本時について ① (11/12)

(ウ)本時の目標

情報を正しくわかりやすく伝えるためには何が必要か考え、情報を選択することができる。

(エ)本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価
<p>1. 放送記者坂井マヤ～ストーリーをさがせ～を取材で写真を撮影する場面まで順次見る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>テレビのニュースとして、正しく、わかりやすく伝えられる写真を撮ろう。</p> </div> <p>2. これから、テレビのニュースとして伝える写真を5枚選択する。また、選択した理由をワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人気歌手の山田愛が助けを求めている写真 (人気歌手の命の危機にあることは大ニュースだから) ・コートにサングラス付けた男の写真 (犯人として怪しいから) <p>3. 5枚の絵を選択した理由について全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々が非難している写真はあった方がいいと思う。なぜなら、多くの人が火事に巻き込まれていることが分かるから。 ・サルが木に隠れている必要ないと思う。何を伝えたいのか見た人がわからないから。 <p>4. 話し合いを通じて、分かったことを発表し、学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターで大きく写し、児童が同じ画面を共有できるようにする。 ・途中で登場人物の確認をしておく。 ・どのような観点から選択したか考えるようにする。 ・写真の撮り方について説明する。 ・前時までに学習した情報モラルなどを考えさせるようにする。 ・本時のめあてである「正しく、わかりやすく伝える」ということから外れないようにする。 ・情報を発信する際にポイントについてまとめる。 	<p>■テレビの視聴者は、ホテル火災についてどのような情報を知りたいか考え、伝えたい情報を、選択することができる。</p> <p>■選択した情報について、情報モラルなどの問題はないか考えることができる。</p>

5. 本時について ② (12 / 12)

(ア) 本時の目標

情報について学んできたことをもとに、伝え方を考えて、正しく、わかりやすく情報を発信することができる。また、メディアリテラシーの大切さを理解することができる。

(イ) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評 価
<p>1. 放送記者坂井マヤ～ストーリーをさがせ～を取材で写真を撮影する場面から編集する場面まで見る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>撮った写真を編集して、ニュースをテレビで伝えよう。</p> </div> <p>2. 前時で選んだ5枚の絵と追加の2枚の絵から、ニュースに使う写真とその写真に合わせたレポートを考える。</p> <p>3. 4～5人グループで編集会議を開き、グループごとにニュースを完成させる。</p> <p>4. 各グループにニュースを発表し、各グループの情報発信の内容について話し合う。</p> <p>5. 最後に、模範の編集例と情報操作をした編集例を見て、学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターで大きく写し、児童が同じ画面を共有できるようにする。 ・前時で選んだ絵は変更できることを伝える。 ・大切な内容は、映像にテロップを付けさせる。 ・映像だけでなく、レポートの内容など、ニュースとして正しくわかりやすいものになっているか考えさせる。 ・正しく、わかりやすく情報を発信することの大切さ、メディアリテラシーを向上させることの大切さについてまとめる。 	<p>■テレビの視聴者は、ホテル火災についてどのような情報を知りたいか考え、伝えたい情報を、選択することができる。</p> <p>■伝えたい情報を受け手にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>■情報を正しく活用することの大切さについて話し合い、メディアリテラシーを向上させることの必要性を理解することができる。</p>